

■後藤文夫 内務官僚、政治家。青年団運動を主導、新官僚の総帥とみなされ、大政翼賛会要職を歴任した。

ごとうふみお

秩父事件・・・1884＝ 大分市大手で、下級武士の家に養子で入り、大分県庁地方課長までなった後藤義知の五男に生まれる。母はクリ。12人兄弟のほとんどが夭折し、一人残った弟も親戚の養子となり、

後藤家を継ぐべくして育てられ、

帝国憲法発布1889＝ 5歳：

帝国議会始・・・1890＝ 6歳：大分師範付属小学校に入学。

大本教・・・1892＝ 8歳：父が死去。

郡司千島探検1893＝ 9歳：

日清戦争始・・・1894＝10歳：

白馬会・・・1896＝12歳：卒業し、大分中学校に入学。

田中正造直訴1901＝17歳：卒業し、第五高等学校一部に入学。田沢義輔と親友になり、のち、強固な協力関係で進む。

教科書疑獄・・・1902＝18歳：

日露戦争終・・・1905＝21歳：_東京帝国大学法科大学に進学し、

アヲネ創刊・・・1908＝24歳：卒業。内務省に入り、東京府属となる。高等文官試験に首席で合格し、

伊藤博文暗殺1909＝25歳：徳島県事務官後、

韓国併合・・・1910＝26歳：歩兵第72連隊に入隊し、1年半の軍隊生活を送り、

大逆事件判決1911＝27歳：

明治天皇没・・・1912＝28歳：除隊後、報徳会機関誌を契機に出会った子爵加納久宜の五女と結婚。神奈川県勸業課長。

大正政変・・・1913＝29歳：青森県警察部長。長男が誕生。

第一次大戦始1914＝30歳：警保局保安課長兼図書課長になるなど、_優秀な官僚として早くから注目され、

21ヶ条要求・・・1915＝31歳：次男が誕生。母が死去。

民生主義・・・1916＝32歳：衆議院議員選挙法調査会幹事に就任して、政治に接近、

ロシア革命・・・1917＝33歳：長女誕生後、ロンドンに留学、往路で革命直前のロシアを観察し、

バreshイ条約・・・1919＝35歳：バルサイユ講話会議を見学し、アメリカに回り、カリフォルニアの農村を見て、帰国。警保局警務課長、

大暴落・・・1920＝36歳：三男が誕生。_月曜会創設とともに、主要メンバーとして参画。内務大臣秘書官、

原敬首相暗殺1921＝37歳：三男が夭折。_専任参事官として内務行政の中核に関与。一方、日本青年館理事となって青年団とも関り、

水平社結成・・・1922＝38歳：次女が誕生。_警保局長。伊沢多喜男からの懇請で政治家への転身を志すようになり、

関東大震災・・・1923＝39歳：震災発生で留任し対処後、辞任。勅撰議員推薦されるも辞退。安岡正篤らの金鶏学院の後援者となる。

護憲三派圧勝1924＝40歳：三女が誕生。_伊沢の下で、台湾総督府総務長官として赴任。

治安維持法・・・1925＝41歳：丸山鶴吉・田沢義輔らの内務官僚、緒方竹虎らの新聞社幹部、近衛文麿らの若手貴族院議員と新日本同盟を結成し、このグループとともに青年団運動も推進、

金融恐慌・・・1927＝43歳：金融恐慌による台湾銀行救済に奔走したため、

共産党事件・・・1928＝44歳：事実上解任されて帰国、以後、浪人生活を送るうち、

世界恐慌・・・1929＝45歳：

海軍軍縮条約1930＝46歳：貴族院議員に勅選される。*日本青年館・大日本連合青年団理事長に就任し、壮年団運動をも推進。

満州事変・・・1931＝47歳：

五一五事件・・・1932＝48歳：金鶏学院をとりまく軍人・官僚の'革新'的な団体{国維会}の結成にあたって发起人・理事として尽力し、新官僚の総帥とみなされるに至る。斎藤内閣が成立し、恐慌後の弱者救済策を期待されて農相に就任、荒木貞夫陸相と組んで'革新'政策の推進にあたり、産業組合の拡大発展につとめる。

帝人疑獄事件1934＝50歳：_日本青年館理事長を辞任し、岡田内閣の内務大臣になると、農産漁村更生のため地方官制を刷新。

二二六事件・・・1936＝52歳：二・二六事件の際、内閣総理大臣臨時代理。総辞職、以後、表舞台から退くが、近衛新党を企図したといわれる荻窪会談に参加、その後も近衛のブレーンの1人として、新体制運動を推進。

日中戦争始・・・1937＝53歳：

健保+総動員 1938＝54歳：

大政翼賛会・・・1940＝56歳：新体制準備委員となり大政翼賛会発足とともに常任総務、

日米開戦・・・1941＝57歳：大政翼賛会中央協力会議議長・大日本壮年団連盟理事長、

・・・1942＝58歳：大政翼賛会事務総長・翼賛政治会常任総務、

創価学会検査1943＝59歳：大政翼賛会副総裁・大日本翼賛壮年団長となり、東条内閣に無任所大臣として入閣するが、

年金+総武装 1944＝60歳：*総辞職とともに、大政翼賛会副総裁も辞任。

敗戦・・・1945＝61歳：敗戦後、A級戦犯に指名され巣鴨に拘置されるが、

新憲法施行・・・1947＝63歳：

極東裁判判決 1948＝64歳：_釈放され、

独立回復・・・1951＝67歳：

メデー事件・・・1952＝68歳：_公職追放も解除され、

TV放送始・・・1953＝69歳：*自由党・改進黨の推薦を受け、参議院議員に、大分県から無所属で当選。産業開発道路協会初代理事長。

自衛隊発足・・・1954＝70歳：_緑風会に所属し、以後、同会議員総会議長・総務委員長・座長・政調会長を歴任。

国連加盟・・・1956＝72歳：_日本青年館理事長に復帰。

美智子妃・・・1959＝75歳：参議院議員に、落選。

安保闘争・・・1960＝76歳：

大学紛争始・・・1965＝81歳：

全共闘に加入・・・1969＝85歳：*日本青年館理事長を辞任。産業開発道路協会を奥地道路協会に改組し、引き続き会長。

石油ショック1973＝89歳：妻が死去。

田中角栄逮捕1976＝92歳：長男正夫が参議院議員に当選するのを見て、

貿易摩擦問題1980＝96歳：肺炎のため、東京品川の病院で、_没した。

{評伝・日本の経済思想}、{没年日本史人物事典}、平凡社百科事典、